**Enjoy!!ティーボール徳島大会２０２３**

どか点ウィズティーボール競技の約束（ルール）

**1　目　標**

（１）笑顔いっぱいティーボールを通して、外遊びのおもしろさを体感する。

（２）ティーボールを通して、打つ、走る、捕る、投げるという運動の基本動作を楽しく学ぶ。

（３）ティーボールを通して、人との関わり方を学び、社会性を養う。

（４）ティーボールを通して、支える人たちへの感謝の気持ちを育む。

**2　競技場（競技図参照）**

（１）塁間の距離は、１４ｍとする。

（２）塁はベースとする。ただし、触塁はしないで内野マーカーと外野マーカーの間を走

る。

（３）本塁、バッターズサークル（安全確保）は、本塁プレートを基点の半径１.５ｍに円を

描くようにラインを引く。

（４）本塁は、本塁プレート上またはその位置に置いたバッティングティー台とする。

（５）打者は、ボールを打った後、走者として各塁を順番に進塁し、一塁（１点）・二塁（２点）・三塁（３点）へと回り、本塁（４点）に戻ったら、２周目に入り、更に一塁（５点）・二 塁（６点）・三塁（７点）へと回った塁により得点が認められる。ベース間の逆走は認めない。

守備側のチームは、打球処理をして、打者走者が進塁する塁へ走者より早くボールを送球するかまたは直接ベース踏むと走者はアウトとなり、進塁することができない。

（６）バッティングティー後方５ｍに、攻撃側ベンチの安全ラインを引く。

**3 約　束**

（１）打者は、思いきりボールを打つ。三振アウトなし。

（２）打者は、打った後、バットをフープかコーンの中に入れて走る。

（３）打者走者は、多くの得点を得るため、次の塁ベースを目指してしっかり走る。

（４）守備者は、打ったボールを捕るために動く。守備者は「オーケー」とか「まかせた」などと声を出して捕りに行く。

（５）ボールを捕った選手は、打者走者が進塁しようとしているベースに素早く返球する。

（６）指導者と打者チームの全員は、打者走者が一塁ベースを回ったら「１点」、二塁なら「２点」、三塁なら「３点」、本塁（バッターズサークル）を超えたなら「４点」、それでも返球されない場合には、２周目で一塁を回ったら「５点」と大きい声で打者走者の得点を数える。審判員（ティーボール・ティーチャー）はこれを確認し、その打者の得点を決定する。

（７）打者チームの全選手は、バッティングティー後方５ｍの打者チームのベンチライン（安全ライン）後方で応援する。

（８）内野手は４名～５名とする。外野手は３名～４名とする。なお、守備選手は対戦チームと同数とする。

（９）大人の競技者は３名以内とし、両チームの選手数は同数でなければならない。大人３名は、常時出場し、本塁手、１塁手、２塁手、３塁手のいずれかの守備に入らなければならない。

**4 用　具**

（１）バッティングティー台１本、塁ベース４枚、マーカー２０枚。

（２）ボール（１１インチインドア用ティーボール・オレンジ）２個

（３）バット（Ｓ、Мサイズ）

（４）フープまたはコーン１個（打者がバットを入れる場所）※約束２

（５）ビブス（打順に合わせて付ける）

（６）用具は、日本ティーボール協会公認用具とする。

